

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	2 教育内容
中項目	
小項目	2.0.1 教育内容
要素	<p>①教育課程が、社会的期待を反映し、理想とする会計職業人を養成する目的を実現することに資するものであること。</p> <p>②次の各号に掲げる授業科目群からの履修により、段階的な教育課程が編成されていること。</p> <p>(1)基本科目 (2)発展科目 (3)応用・実践科目</p> <p>③基準2-0-1②の各号のすべてにわたって教育上の目的に応じて適当と認められる単位数以上の授業科目が開設されているとともに、学生の授業科目の履修が同基準各号のいずれかに過度に偏ることがないように配慮されていること。また、会計大学院の目的に照らして、選択必修科目、選択科目等の分類が適切に行われ、学生による段階的履修に資するよう各年次にわたって適切に配当されていること。</p> <p>④各授業科目における、授業時間等の設定が、単位数との関係において、大学設置基準第21条から第23条までの規定に照らして適切であること。</p>

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 提供するカリキュラムが会計職業人の養成に資するものとして、各講義ごとの学生の到達目標を明らかにする。	→学生の到達目標を明示したシラバス数	D	C	B		
2. 「公認内部監査人」資格取得を目的のひとつとした企業経理担当者養成履修プランの開発	→「公認内部監査人」を目的とする履修プランの作成・改訂状況	D	C	C		
3. IT関連科目および英語コミュニケーションを体系的に学習するためのカリキュラムの構築	→IT関連科目・英語コミュニケーション科目のカリキュラムの設定構築状況	D	C	A		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	ほぼすべてのシラバスに学生の到達目標が明示されている。
目標2	進展はないが、例年どおり学内セミナーとして公認内部監査人の講座を開催している。
目標3	IT関連科目として「IT基礎」「IT統制」、英語コミュニケーション科目として「ビジネスコミュニケーション」を設定した。
備考	

☆